

『ファニーたい焼きトム』 豆腐ハ  
ンバーグ』

## 登場人物

トム (Tom)

- 年齢…30代前半
- 性別…男性
- 職業…『たい焼きトム』の店主
- 国籍…アメリカ
- 外見…短髪で元気な印象、少し陽気な笑顔を絶やさない。洋服はカジュアルで、よくエプロンをつけている。
- 性格…エンタメ精神が強く、ポジティブで快活。自分のアイデアには自信を持っており、失敗を恐れない。ときどき突飛な発想をするが、その

情熱に周囲を巻き込む力を持っている。明るく、周りの人々を笑顔にすることが得意。

### 特徴的な言動：

- 「どうせ作るならファニーなたい焼きを！」
- 常に新しいアイデアに挑戦しており、物事を面白くすることに命をかけている。

### 魚住 (Uozumi)

- 年齢…20代前半
- 性別…女性
- 職業…『たい焼きトム』のアルバイト店員
- 国籍…日本
- 外見…長い黒髪をポニーテールにしており、顔立ちは清楚。カジュアル

な服装をしているが、エプロンがよく似合う。

- **性格**…真面目で心配性。トムの斬新なアイデアに対して毎回不安を抱くが、最終的にはトムの情熱に引き込まれて協力する。接客が得意で、笑顔でお客さんに対応する。実はかなりのたい焼き好きで、仕事には真剣に取り組んでいるが、トムのユニークな性格に振り回されることも多い。

### 特徴的な言動：

- 「これ、大丈夫ですか？」
- 「毎回言いますけど、またやりすぎなんじゃないですか…？」
- 魚住のセリフは心配の色が強く、トムの発想を常に冷静に疑うが、最終的には「でも、応援しないと！」と協力する。

## 隣のたい焼き屋の店主（隣の店主）

- 年齢…40代後半～50代前半
- 性別…男性
- 職業…隣のたい焼き屋の店主
- 外見…中肉中背、髪の毛は白髪交じりで、少しハゲている。白いシャツとエプロンをしており、少し古びた店を経営している感じ。

- 性格…保守的で、伝統的なたい焼きの味にこだわるタイプ。新しいアイデアには否定的で、最初はトムの斬新なアイデアに興味を持たないが、実際に食べてみてその味に驚く。驚きの反応を見せることが多く、思わず自分の店を見直すことになる。

## 特徴的な言動：

- 「こ、これ…こんな味、見たことがない！」

- 「あの、どうしてこんな発想が…！」

その他の登場キャラクター（お客さんたち）

お客①（男性）

- 年齢…30代
- 外見…スーツ姿で、会社帰りに寄ったサラリーマン。
- 特徴…最初は疑っていたが、一口食べて驚き、すぐにファンになってしまう。

お客②（女性）

- 年齢…20代後半
- 外見…カジュアルな服装で、おしやれな印象。
- 特徴…インスタグラムに写真を投稿することが趣味。美味しさを伝え

るためにSNSでシェアし、店の宣伝に協力する。

### お客 3 (男性)

- 年齢…40代
- 外見…年齢より若々しい印象の中  
年男性。
- 特徴…体型が気になり、ダイエット中だが、豆腐ハンバーグたい焼きに満足して健康的な食事の選択肢として評価する。
- 

### シーン1: 発案 (約8分)

店内。トムがメニュー表を広げて座っている。魚住は掃除をしているが、少し気になる様子。

トム

(表情を輝かせながら)

「魚住、次のたい焼きのアイデアがやばい！これを試す価値、絶対ある！」

魚住

（不安そうに）

「毎回言いますけど、それ大丈夫なんですか？去年の…あの『キムチチーズたい焼き』みたいなこと、ありませんか？」

トム

（大げさに手を振りながら）

「あれは失敗だったかもしれないけど！今回は違うんだ。今回は豆腐ハンバーグだよ！」

魚住

（目を見開いて）

「豆腐ハンバーグ！？たい焼きの中ですか？」

トム

「そうだ！フワフワの豆腐ハンバーグと、

パリッとしたたい焼きの皮が：うーん、  
絶妙！これが新しい革命だ！」

**魚住**

（困惑しながら）

「でも…豆腐って焼くと水分が多いし、  
たい焼きの皮がべチャべチャになりませ  
んか？」

**トム**

（力強くうなずきながら）

「それを完璧に調整するのが僕の仕事  
だ！試してみなきゃ分からないさ！」

魚住は半信半疑で頷くが、最終的にはト  
ムの熱意に押されて協力を決意する。

シーン 2：調理（約12分）

厨房。トムが豆腐をポウルに入れ、ひき肉と混ぜている。魚住はその隣で疑念を持ちながら見守る。

トム

（テンション高く）

「見てろよ、これが夢のコラボだ！豆腐とひき肉の最強タッグ！」

魚住

（心配そうに）

「でも、何か：水分が漏れちゃってる気がするんですけど……」

トム

「それは心配無用！水分を飛ばす魔法のテクニクがあるんだよ！」

トムがフライパンで焼き始めると、最初はうまく焼けていないように見える。豆腐が崩れそうになり、魚住が必死に手を貸す。

魚住

（焦りながら）

「これ、ダメですよ！もう少し時間をおいて…！」

トムがやや焦りながらも、焼き加減を微調整していく。次第に豆腐ハンバーグがふわっと焼き上がる。

トム

（嬉しそうに）

「見ろ！完璧だ！これが芸術作品だよ！」  
焼き上がった豆腐ハンバーグたい焼きを慎重に皮で包み、最終的に形が決まると、魚住が試しに一口食べる。しばらく沈黙が続く。

魚住

（無言で食べて、驚愕）

「…意外と…おいしい…！」

トム

(得意げに)

「だろ？僕の直感の間違ってない！」

シーン③：開店・お客さん達の飯テロ(約15分)

開店時間。お客さんが店に入ってくると、魚住が元気よく挨拶をする。

魚住

「いらっしやいませ！新しい商品、『豆腐ハンバーグたい焼き』登場です！ヘルシーでジューシー、ぜひお試しください  
い！」

最初のお客さん(男性)が、半信半疑で注文をする。

お客

(疑わしそうに)

「豆腐ハンバーグ？ホントに美味しいのかな…」

たい焼きが出てくると、お客一が一口食べ、目を大きく開ける。

お客一

（驚きながら）

「おおっ！こんなにジューシーで、豆腐がこんなに肉っぽいとは！」

周囲のお客さんたちも興味津々で、続々と注文を始める。

お客二（女性）

（写真を撮りながら）

「これ、インスタ映え間違いなし！食べてみる！」

お客三（男性）も食べてみる。

お客三

「こんなにヘルシーなのに、満腹感があ

る！普通のたい焼きよりこっちの方がいいかも！」

魚住は注文をさばきながら、嬉しそうにお客さんとのやり取りを進める。

魚住

「ありがとうございます！『豆腐ハンバーグたい焼き』、次回もよろしくお願いします！」

お客さんたちは満足そうに店を後にし、次々と注文が入る。店内が賑わい、魚住の顔にも自然と笑顔が浮かぶ。

#### シーン 4： SNS で話題（約 10 分）

SNS の画面が映し出され、ユーザーの投稿が表示される。魚住がスマホを見ながら、気になる投稿を読み上げる。

魚住

「ええと、『新たなヘルシー、健康フード革命！豆腐ハンバーグたい焼き、ダイエット中でも安心して食べられる！』つて！」

さらにスクロールし、別の投稿を読み上げる。

魚住

「『これでたい焼きが進化した！ヘルシーなのに、満足感がスゴイ！』」

トムが自信満々に言う。

トム

「どうだ！やっぱり、僕のアイデアは世界を変える！」

魚住も嬉しそうに頷くが、少し照れくさい表情を見せる。

魚住

「まさか、こんなに評判になるなんて…。でも、お客さんが喜んでるのを見ると嬉しいですね。」

シーン5：売上・世間評価（約12分）

数日後、店内は相変わらず賑わい続けている。トムと魚住は売上のグラフを見ながら、満足げに微笑んでいる。

トム

「売上もどんどん上がってる！これが僕  
の力だ！」

外には行列ができ、店内には次々とお客  
さんが入ってくる。

魚住

「本当に、こんなに人気になるとは…。  
でも、トムさんが言った通り、うちのた

い焼きは『ファニー』で楽しいですもんね。」

エピソード：隣町のたい焼き屋の店主がスパイとして来店（約10分）

隣町のたい焼き屋の店主（中年男性）が店内に忍び込む。彼は興味津々に豆腐ハンバーグたい焼きを試食し、その驚きのリアクションを見せる。

隣町の店主

（ひと口食べて驚き）

「こゝこれは…！あまりにも斬新すぎて…！」

彼が目を大きく開け、口に出す。

隣町の店主

「〇〇過ぎて真似できない！こんな発想、俺には到底できない！」

トムが得意げに肩をすくめて微笑む。

トム

「どうだ！これが僕の『ファニー』なアイ  
デアさ！」

魚住

（ほっとした表情で）

「次も頑張りましたよ！ね！」

THE END